

製品名: MEK1/2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03784**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.11mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 43,44 kDa; Observed MW: 43,44 kDa

抗原情報

遺伝子名	MAP2K1/MAP2K2
別名	MAP2K1; MEK1; PRKMK1; Dual specificity mitogen-activated protein kinase kinase 1; MAP kinase kinase 1; MAPKK 1; MKK1; ERK activator kinase 1; MAPK/ERK kinase 1; MEK 1; MAP2K2; MEK2; MKK2; PRKMK2; Dual specificity mitogen-activated protein k
遺伝子 ID	5604/5605
SwissProt ID	Q02750/P36507
免疫原	-

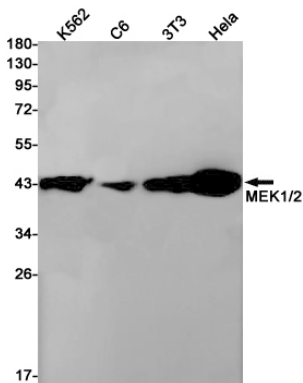
背景

MAP キナーゼシグナル伝達経路の必須構成要素として機能する二重特異性プロテインキナーゼ。成長因子、サイトカイン、ホルモンなどの細胞外リガンドが細胞表面受容体に結合すると RAS が活性化され、RAF1 の活性化が開始されます。RAF1 はさらに二重特異性プロテインキナーゼである MAP2K1/MEK1 および MAP2K2/MEK2 を活性化します。

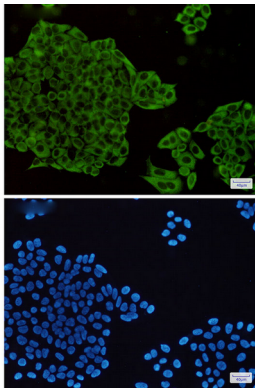
研究分野

シグナル伝達

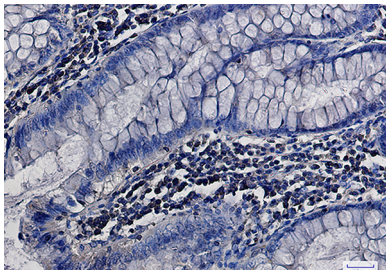
画像データ



MEK1/2 抗体を使用した K562、C6、3T3、Hela 溶解物中の MEK1/2 のウエスタンブロット分析。



MEK1/2 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の MEK1/2 (緑) の免疫細胞化学分析



MEK1/2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。